

令和8年度

事業計画書

公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会

目 次

- 1 事業活動方針
- 2 事業概要
- 3 事業区分別事業計画

1 事業活動方針

障がいのある方の積極的なスポーツ活動を通じて、障がい者スポーツの普及・振興に努めるとともに、障がいのある方の心身の健康増進及び機能回復を図ることにより、社会参加を促進し、障がい者福祉の向上に寄与する。

また、2024年に開催されたパリ2024パラリンピックや2025年に開催された東京2025デフリンピック等により障がい者スポーツへの関心が高まっている。このような状況を最大限活かし、これまで以上に障がいのある方が日常的にスポーツに親しむことができる文化を創出するとともに、障がいのある方とない方が一緒にスポーツを楽しむことができる環境を推進するための取組を実施する。

2 事業概要

当協会は、定款第4条の規定に基づき、次の事業を行う。

(1) 障がい者スポーツ大会の開催及び奨励 29,518千円

障がいのある方が身近な地域において、日常的にスポーツに取り組める環境を整備するとともに、全国障害者スポーツ大会への福島県選手団の派遣を行い、競技を通じたスポーツの楽しさを体験してもらうことで、障がい者の社会参加の促進を図る。

- ① 障がい者団体スポーツ活動支援事業
- ② 福島県障がい者スポーツ大会開催事業
- ③ 全国障害者スポーツ大会選手団派遣事業

(2) 公認パラスポーツ指導者の養成及び資質向上 828千円

障がい者スポーツの振興を図るには、障がい者スポーツの知識のある指導員及びボランティアの養成が必要不可欠である。地域で活動する指導員、専門競技において活動する指導員等、各指導員が得意とする指導環境の整備を行うとともに、障がいのある方が安心して参加し、それぞれの目的に沿った指導が受けられるように配慮する。

また、指導技術を高めるほかに、事業の企画・運営など地域の特色に合わせたマネジメントができる指導員の育成を図る。

- ① 初級パラスポーツ指導員養成講習会開催事業
- ② 公認パラスポーツ指導員育成支援事業（中級・上級資格取得のための支援）
- ③ 福島県障がい者スポーツ指導者協議会運営事業

(3) 障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援 1,416千円

特別支援学校卒業後など、競技に取り組める環境づくりをするために、障がい者の各種競技団体を育成・強化に資する取組を支援し、継続してスポーツをする環境を整備する。

- ① 選手指導者組織育成支援事業
- ② 団体競技強化支援事業

(4) 障がい者スポーツ選手の競技力の向上 7,186千円

スポーツをきっかけとして、障がいのある方の積極的な活動を通じた社会参加と自立を促進するため、選手の育成強化と競技の普及・振興を一本化し、次世代を担う選手の輩出と障がい者スポーツの裾野の拡大を図る。

- ① 各種助成事業
- ② 運動導入教室開催事業
- ③ 地域スポーツ教室開催事業
- ④ 種目別スポーツ教室開催事業
- ⑤ 各障がい者スポーツ大会支援事業
- ⑥ ふくしまネクストアスリート支援事業

(5) 障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報 11,682千円

スポーツを通じた共生社会の実現を図るためには、障がいのある方と障がいのない方が一緒にスポーツに親しみ、互いの理解を深めてもらうことが重要であるため、学校や総合型地域スポーツクラブを始めとした県内の様々な団体からの要望に応じた競技体験等による出前講座の実施や、県内で開催されるスポーツイベント等における体験ブースの出展などによる、障がい者スポーツの魅力発信に取り組むとともに、県内の大学等と連携したサポーター（支援者）の育成や用具の貸出等により、身近な場所でスポーツを楽しめる環境を整備する。

また、協会広報誌の発行やホームページ等を活用した情報発信・情報提供を行う。

- ① とともに、つながる。ふくしまスポーツ交流事業
- ② パラスポーツVR体験事業
- ③ 協会広報誌の発行及び障がい者スポーツに関する情報提供

(6) 障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究 30千円

国及び県のスポーツ推進に関わる会議等に出席し情報収集を図ると共に、前例のない障がい等に対応する競技用具の研究開発等にあたる。

- ① 各種障がい者スポーツに関する情報収集
障がい者スポーツ医学委員会の開催

(7) 協会の運営 735千円

障がい者スポーツの中核的組織である本協会の安定した運営を図ることは、本県障がい者スポーツ活動推進の安定につながるものである。会員拡大、協賛企業の確保に努め、円滑な障がい者スポーツの振興を図る。

3 事業区分別事業計画

【公益事業】(1) 障がい者スポーツ大会の開催及び奨励

事業名	①障がい者団体スポーツ活動支援事業	予算額	260 千円
		前年度予算額	260 千円
目的	障がいのある方のスポーツを通じた社会参加や日常生活の充実を促進するため、各障がい者団体等が行うスポーツ活動に対し助成する。		
内容	<p>事業概要 福祉団体等が開催する、スポーツ・レクリエーションを通じた社会参加、自立支援及び障がい者スポーツの振興に寄与する活動に要する費用の一部を（予算の範囲内で）助成する。</p> <p>事業実施主体（助成先） 県内に所在する障がい者スポーツに関する事業に取り組む団体。 （福祉団体、福祉施設・事業所、スポーツクラブ・サークル等）</p> <p>対象事業 (1) スポーツを通じた社会参加を目的に、教室や大会などのレクリエーション活動を実施するもの。 (2) 当協会の各障がい者スポーツ大会支援事業等、他の助成事業と重複しないもの。</p> <p>助成額 事業実施主体に対し、事業数に関わらず1団体につき30,000円以内（※）を上限に助成する。（※）新規事業実施主体は50,000円以内</p>		
参考	令和7年度実績 県内障がい者競技団体、県内障がい者福祉団体等		

事業名	②福島県障がい者スポーツ大会開催事業	予算額	7,667千円																																										
		前年度予算額	6,940千円																																										
目的	<p>障がいのある方が、スポーツを通じて、心身の健康維持・増進を図るとともに積極的な社会参加と社会的自立を促進し、あわせて県民の障がいのある方に対する理解を深めることを目的とする。</p> <p>なお、本大会は、(令和8年度開催)第25回全国障害者スポーツ大会個人競技の選考を兼ねるものとするが、全国大会派遣種目及び選手の決定等については、大会後に開催する選考会を経て、福島県の総合的な判断により決定する。</p>																																												
内容	<p>大会概要</p> <p>期日：令和8年5月17日(日)、24日(日)及び31日(日)</p> <p>競技種目・会場は以下のとおり</p>																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>競技種目</th> <th>障がい種別</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">5月17日(日)</td> <td>水泳競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>本宮市市民プール</td> </tr> <tr> <td>バスケットボール競技</td> <td>知的</td> <td>本宮市白沢体育館</td> </tr> <tr> <td>サッカー競技</td> <td>知的</td> <td>十六沼公園サッカー場・人工芝コート</td> </tr> <tr> <td>バレーボール競技</td> <td>身体・精神</td> <td>福島市南体育館</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">5月24日(日)</td> <td>卓球競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>福島トヨタクラウンアリーナ・メインアリーナ</td> </tr> <tr> <td>サウンドテーブルテニス競技</td> <td>身体</td> <td>福島県立視覚支援学校体育館</td> </tr> <tr> <td>アーチェリー競技</td> <td>身体</td> <td>白龍山アーチェリーレンジ(会津若松市)</td> </tr> <tr> <td>ポッチャ競技</td> <td>身体</td> <td>あづま総合体育館・サブアリーナ</td> </tr> <tr> <td>車いすバスケットボール競技</td> <td>身体</td> <td>福島トヨタクラウンアリーナ・サブアリーナ</td> </tr> <tr> <td>ツインバスケットボール競技</td> <td>身体</td> <td>福島県立視覚支援学校グラウンド</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">5月31日(日)</td> <td>陸上競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>とうほう・みんなのスタジアム</td> </tr> <tr> <td>フライングディスク競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>あづま総合運動公園・補助陸上競技場</td> </tr> </tbody> </table>			期日	競技種目	障がい種別	会場	5月17日(日)	水泳競技	身体・知的・精神	本宮市市民プール	バスケットボール競技	知的	本宮市白沢体育館	サッカー競技	知的	十六沼公園サッカー場・人工芝コート	バレーボール競技	身体・精神	福島市南体育館	5月24日(日)	卓球競技	身体・知的・精神	福島トヨタクラウンアリーナ・メインアリーナ	サウンドテーブルテニス競技	身体	福島県立視覚支援学校体育館	アーチェリー競技	身体	白龍山アーチェリーレンジ(会津若松市)	ポッチャ競技	身体	あづま総合体育館・サブアリーナ	車いすバスケットボール競技	身体	福島トヨタクラウンアリーナ・サブアリーナ	ツインバスケットボール競技	身体	福島県立視覚支援学校グラウンド	5月31日(日)	陸上競技	身体・知的・精神	とうほう・みんなのスタジアム	フライングディスク競技	身体・知的・精神
期日	競技種目	障がい種別	会場																																										
5月17日(日)	水泳競技	身体・知的・精神	本宮市市民プール																																										
	バスケットボール競技	知的	本宮市白沢体育館																																										
	サッカー競技	知的	十六沼公園サッカー場・人工芝コート																																										
	バレーボール競技	身体・精神	福島市南体育館																																										
5月24日(日)	卓球競技	身体・知的・精神	福島トヨタクラウンアリーナ・メインアリーナ																																										
	サウンドテーブルテニス競技	身体	福島県立視覚支援学校体育館																																										
	アーチェリー競技	身体	白龍山アーチェリーレンジ(会津若松市)																																										
	ポッチャ競技	身体	あづま総合体育館・サブアリーナ																																										
	車いすバスケットボール競技	身体	福島トヨタクラウンアリーナ・サブアリーナ																																										
	ツインバスケットボール競技	身体	福島県立視覚支援学校グラウンド																																										
5月31日(日)	陸上競技	身体・知的・精神	とうほう・みんなのスタジアム																																										
	フライングディスク競技	身体・知的・精神	あづま総合運動公園・補助陸上競技場																																										
	<p>「第25回全国障害者スポーツ大会」選手選考会</p> <p>期日：令和8年6月第1週</p> <p>主催：福島県</p> <p>※書面または対面にて開催予定</p>																																												
参考																																													

事業名	③全国障害者スポーツ大会福島県選手団派遣事業	予算額	21,591千円
		前年度予算額	22,271千円
目的	福島県障がい者スポーツ大会に出場した個人競技の選手のうち、選手選考会を経て本県代表に選出された選手を標記大会に派遣する。同じく、全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会に本県代表として出場し、標記大会への出場権を得た団体競技を派遣する。		
内形	<p>大会名 第25回全国障害者スポーツ大会 青の煌めきあおもり障スポ</p> <p>派遣期間： 第1陣：令和8年10月21日（水）～10月26日（月） 第2陣：令和8年10月22日（木）～10月27日（火）※会期の都合上、2陣に分けて派遣する予定です。</p> <p>開催場所：青森県</p> <p>派遣人数：選手71名（予定）、役員55名（予定）</p> <p>大会規模：参加選手約3,500名（想定）、役員約2,000名</p> <p>実施競技： ○個人競技：7競技 陸上競技（身・知）、水泳（身・知）、アーチェリー（身）、卓球（サウンドテーブルテニスを含む）（身・知・精）、フライングディスク（身・知）、ボウリング（知）、ボッチャ（身）</p> ○団体競技：7競技 バスケットボール（知）、車いすバスケットボール（身）、ソフトボール（知）、ブラインドベースボール（身）、パレーボール（身・知・精）、サッカー（知）、フットソフトボール（知） ○オープン競技：3競技 ブラインドテニス（身）、ファイン・ボール（身）、デフボウリング（身）		
参考			

【公益事業】（２）公認パラスポーツ指導者の養成及び資質向上

事業名	①初級パラスポーツ指導員養成講習会開催事業	予算額	443 千円
		前年度予算額	438 千円
目的	公認パラスポーツ指導者を養成し、県内各種大会における活動によって、障がい者スポーツの普及・振興に寄与する。		
内容	<p>初級パラスポーツ指導員養成講習会</p> <p>障がいの基本内容を理解し、障がい者のスポーツの導入に必要な基本的知識・技術を身に付け、健康や安全管理を重視した指導ができる指導員を育成する。</p> <p>講習会概要</p> <p>○共催：福島県教育委員会、福島県障がい者スポーツ指導者協議会（予定）</p> <p>○後援：（公財）福島県スポーツ協会、（公財）日本パラスポーツ協会</p> <p>○募集対象：本県に住所を置く、事業実施年４月１日時点において満１８歳以上で、障がい者スポーツに理解と熱意を有し、資格取得後は障がい者スポーツ指導員として活動できる方。</p> <p>○実施日：令和８年７月１１日（土）、１２日（日）、１８日（土）（予定）</p> <p>○会場：郡山市障害者福祉センター（予定）</p> <p>○募集人員：３０名程度</p> <p>○募集期間：調整中</p> <p>※初級パラスポーツ指導員：地域で活躍する指導者で、主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツの導入を支援する者。</p>		
参考			

事業名	②公認パラスポーツ指導者育成支援事業 (中級・上級資格取得のための支援)	予算額	184 千円
		前年度予算額	369 千円
目的	上級資格取得、専門資格取得講習会に指導員を派遣し、専門指導の知識を高め、指導員に対する指導ができる指導員及び安全な事業運営に努めるための専門知識のある指導員を養成する。		
内容	<p>事業概要 指導員が上級・専門資格取得のため講習会等に参加する際の必要経費について助成を行う。</p> <p>※対象講習会等</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 上級パラスポーツ指導員養成講習会 (2) 中級パラスポーツ指導員養成講習会 (3) パラスポーツコーチ養成講習会 (4) パラスポーツトレーナー養成講習会 (5) パラスポーツ医養成 (6) 中級・上級パラスポーツ指導員育成研修会 など 		
参考			

事業名	③福島県障がい者スポーツ指導者協議会 運営事業	予算額	201 千円
		前年度予算額	301 千円
目的	<p>専門指導力及び選手の競技力向上、地域スポーツの振興を図るための環境を整備するため、「福島県障がい者スポーツ指導者協議会」の運営を支援する。</p>		
内容	<p>事業概要</p> <p>(1) 福島県障がい者スポーツ指導者協議会総会</p> <p>(2) 役員会の開催 2か月に一度、役員会を開催し、各部の進捗状況確認と指導を実施</p> <p>(3) 各部会（各部運営委員会）の開催 3か月に一度、各部会の開催</p>		
参考	<p>自主事業</p>		

【公益事業】（３）障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

事業名	①選手指導者組織育成支援事業	予算額	30 千円
		前年度予算額	30 千円
目的	<p>特別支援学校、学級卒業後、競技として取り組むことを望む選手に対して、障がい者スポーツの各種競技団体を育成・支援し、競技環境を整える。また、専門競技の障がい者スポーツ指導者の活躍の場を確保し、得意種目の指導ができる環境を整備する。</p> <p>なお、競技を継続する上で特別な支援が必要とする個人競技選手、指導者に対して必要な支援を行う。</p>		
内容	<p>事業概要</p> <p>選手、役員、競技団体に対し、人材育成支援、組織運営支援、選手発掘・育成に関わる支援協力を行い競技環境の充実を図る。</p>		
参考	<p>自主事業 過去の支援実績</p> <p>平成 8 年：知的障害者バスケットボール普及 平成 8 年：フライングディスク、ボッチャ競技普及開始 平成 9 年：冬季競技日本代表発掘事業（ジュニア発掘・育成） 平成 12 年：福島県障害者フライングディスク協会設立準備及び設立 平成 16 年：車椅子バスケットボール日本代表育成 平成 21 年：福島県障がい者陸上競技協会再編支援 平成 23 年：福島県障がい者アーチェリークラブ支援 平成 25 年：水泳選手育成支援 平成 27 年：陸上競技選手の競技用車椅子シーティング作成 平成 28 年：パラバドミントン選手支援 平成 30 年～：ボッチャ選手育成支援 令和元～3 年：車いすラグビー選手強化練習支援</p>		

事業名	②団体競技強化支援事業	予算額	1,386 千円
		前年度予算額	1,386 千円
目的	全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会等への参加等に必要な費用を支援し、団体競技に取り組む障がい者アスリートの競技力向上を図る。		
内容	<p>事業概要</p> <p>福島県代表団体競技チームが、全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会等に出場する場合等に必要な経費を支援する。</p> <p>○想定団体競技種目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール（知的） ・車いすバスケットボール（身体） ・ブラインドベースボール（視覚） ・バレーボール（聴覚、精神） ・サッカー（知的） 		
参考			

【公益事業】（４）障がい者スポーツ選手の競技力の向上

事業名	①各種助成事業	予算額	300 千円
		前年度予算額	300 千円
目的	<p>全国大会（東北大会含む）または国際レベルのスポーツ大会に出場する選手・団体に対し、出場に要する費用（旅費等）を助成する。</p>		
内容	<p>事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国大会等出場助成金 各種競技種目の東北大会以上に出場する選手・団体に対し、交付要綱に基づき、旅費、宿泊費、大会参加費等大会に要する経費の一部を定額で助成する。 ・ 国際大会等出場激励金 パラリンピック及びデフリンピックに出場する、本県ゆかりの選手等に対し、5万円以内を激励金として交付する。 		
参考	<p>自主事業</p>		

事業名	②運動導入教室開催事業	予算額	2,384 千円
		前年度予算額	1,881 千円
目的	障がいのある方の多くが運動・スポーツに接する機会が少ないことから、障がいのある方が運動等をはじめの機会の提供や医事、スポーツ障がい予防、補装具制作等についての相談・指導を行う。		
内容	<p>事業概要</p> <p>①障がい者が運動等をはじめ際の医事、スポーツ障がい予防、補装具制作等についての相談・指導を行う。 県北会場：福島市（毎週1回程度開催予定） 県中会場：郡山市（毎週1回、毎月第1日曜日開催予定）</p> <p>②障がい児などに対し、遊びの中で、楽しく運動をしながら車椅子の操作や、障がい程度に合わせた身体の動かし方を会得していく。</p> <p>③中途障がい（成人になってから障がいを負った方とその家族・介助者）に対し、車椅子操作、義足での歩行、片麻痺の運動指導等の各障がい現況に合わせた指導を行う。</p> <p>④各個人の身体・障がいに合わせた内容のスポーツ教室（種目別教室）への参加を促す。</p> <p>⑤運動能力が高い方については、さまざまなスポーツ経験をした後に、自らが望む専門競技団体への参加を支援する。</p> <p>⑥自治体、教育機関、医療関係団体と連携し、運動導入指導に関わる人材育成を図る。</p>		
参考			

事業名	③地域スポーツ教室開催事業	予算額	720 千円
		前年度予算額	720 千円
目的	福島県障がい者スポーツ指導者協議会と連携し、身近な地域でスポーツに親しむ環境づくりを推進する。		
内容	事業概要 福島県障がい者スポーツ指導者協議会が開催する地域スポーツ教室・大会を支援する。		
参考			

事業名	④種目別スポーツ教室開催事業	予算額	1,868 千円
		前年度予算額	1868 千円
目的	障がいのある方が運動スキルを楽しく身につけ、また、得意分野を発見できるよう幅広い種目のスポーツ教室を開催する。各競技団体等と連携して開催し、選手の育成・強化と普及・拡大を一体的に取り組む。		
内容	<p>事業概要</p> <p>①障がいのある方が運動スキルの基礎を楽しく身につけ、得意分野を発見できるようにさまざまな種目のスポーツ教室を開催する。</p> <p>②障がいのある方が各スポーツ競技団体と交流することで、競技への参加を促進する。選手は、各種大会への出場など、それぞれの目標に向かい、生きがいをもつことが期待できる。</p> <p>○実施予定競技種目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上 ・フライングディスク ・卓球 ・サウンドテーブルテニス ・アーチェリー ・サッカー ・バスケットボール ・車いすバスケットボール ・水泳 ・ブラインドベースボール ・ボッチャ ・その他（ツインバスケットボールやパラサイクリング、スキーなど、希望等に応じて実施） 		
参考			

事業名	⑤各障がい者スポーツ大会支援事業	予算額	635 千円
		前年度予算額	751 千円
目的	県内の各障がい者スポーツ競技団体が、選手の練習成果発揮の機会提供及び実戦を通じた競技力向上を目的に開催する各競技の大会開催に要する費用を支援する。		
内容	<p>事業概要</p> <p>県内で開催される各競技の大会に対して開催経費の一部を助成する。</p> <p>○想定競技種目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上 ・フライングディスク ・バスケットボール（知的） ・ボッチャ ・サッカー ・シッティングバレーボール ・スキー ・聴覚障がい者スポーツ競技（県ろうあ者スポーツ大会） ・ハンドバイク 		
参考			

事業名	⑥ふくしまネクストアスリート支援事業	予算額	1,279 千円
		前年度予算額	1,779 千円
目的	<p>今後の本県障がい者スポーツ発展の牽引役を担うことが期待される本県選手を「ふくしまネクストアスリート」として指定し、競技力強化に要する経費を支援する。</p>		
内容	<p>事業概要</p> <p>将来にわたって活躍が期待される選手を「ふくしまネクストアスリート」として指定し、中央競技団体、個人等で実施する強化練習会や大会等へ参加する場合に必要な費用等について支援する。</p> <p>○指定予定者：10名程度</p>		
参考			

【公益事業】（５）障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

事業名	①ともに、つながる。ふくしまスポーツ交流事業	予算額	9,352 千円
		前年度予算額	10,352 千円
目的	障がい者スポーツを交流をきっかけとして、障がいのある人もない人も、互いを理解し、尊重し、支え合い、共に暮らしやすい社会（共生社会）を実現を目指す。		
内容	<p>事業概要</p> <p>① パラアスリート等によるスポーツ教室【継続】 パラリンピック等に出場経験のあるアスリートやその指導者などを講師として迎え、競技の魅力を知るためのスポーツ教室や講演会を実施する。（車いすバスケットボール、ボッチャ、デフスポーツなど）</p> <p>② インクルーシブなスポーツ体験【継続】 学校・企業等の申込みに応じて、障がいのある人とない人がともに楽しむことができるインクルーシブなスポーツ体験会を実施する。 また、福祉事業所等と連携し、ともにスポーツを楽しむ機会を創出する。（ボッチャ、卓球バレーなど） このほか、多くの人々が手軽に体験できるよう、ボッチャや卓球バレー等の用具貸出を随時行う。</p> <p>③ ボッチャふくしまカップ【継続】 障がいのある人とない人が、一緒に参加し、競い合うことができるボッチャ競技の県大会「ボッチャふくしまカップ」の第3回大会を開催する。</p> <p>④ 障がい者スポーツサポーター養成講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療系大学等と連携したサポーター養成講習会開催【継続】 県内の医療系大学等と連携し、スポーツに取り組む障がい者を支援するスキルを習得するための講習会を開催する。 ・ 審判・競技サポーター等養成講習会開催【新規】 上記講習会の受講者や障がい者スポーツに関心のある者を対象に、ボッチャをはじめとした競技をより専門的に学ぶことができる講習会を開催する。 <p>⑤ 以上を実施するため、特任コーディネーター、スペシャル講師を委嘱し、様々な専門家に各方面で協力をいただく予定。</p>		
参考			

事業名	②パラスポーツVR体験事業	予算額	2,030 千円
		前年度予算額	2,149 千円
目的	<p>スポーツのVR体験を通じて、スポーツの楽しさを伝え、笑顔を届けるとともに、障がいのある子どもたちの将来の自分づくりに向けた夢や希望を育み、未来へ挑戦するきっかけを提供する。</p>		
内容	<p>事業概要 エアレース・パイロット 室屋 義秀 氏の飛行映像等のスカイスポーツのVR体験等ができるイベント「パラスポーツふくしまの空を舞う」を開催する。 【対象者】県内の支援学校の生徒・児童 【場 所】県内の支援学校 1校想定</p>		
参考			

事業名	③協会広報誌の発行及び 障がい者スポーツに関する情報提供	予算額	300 千円
		前年度予算額	173 千円
目的	賛助会員及び会員獲得のため、協会広報誌を発行するほか、ホームページ等を活用し、障がい者スポーツに関する各種情報の提供を行う。		
内容	事業概要 広報誌の発行等 年1回広報誌を発行する。		
参考	自主事業		

【公益事業】（６）障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

事業名	①各種障がい者スポーツに関する情報収集 障がい者スポーツ医学委員会の開催	予算額	30千円
		前年度予算額	30千円
目的	各種会議、講習会等に参加し、最新の情報を元に安心安全なスポーツ環境の提供を図る。		
内容	<p>事業概要</p> <p>①各種障がい者スポーツに関する情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種会議、講習会等に参加し、最新の情報の入手を図る。 ・日本パラスポーツ協議会（四協議会） ・東北ブロックパラスポーツ連絡協議会 ・その他必要な会議等 <p>②障がい者スポーツ医学委員会の開催</p> <p>障がい者スポーツ医等による専門委員会を開催し、障がい者スポーツの医学サポートの充実を図る。</p>		
参考	自主事業		

【法人会計】（８）協会の運営

事業名	協会の運営に関わる管理経費等	予算額	735 千円
		前年度予算額	673 千円
目的	協会の運営に関わる評議員会、理事会等の会議の開催経費他、行政財産使用料。法人会計に係る税理士経費を確保し、安定した法人運営を目指す。		
内容	<p>事業概要</p> <p>①会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 理事会 <ul style="list-style-type: none"> ア 第1回理事会（令和8年5月予定） 令和7年度事業報告・収支決算について他 イ 第2回理事会（令和9年3月予定） 令和9年度事業計画・収支予算について他 ● 評議員会 <ul style="list-style-type: none"> ア 第1回評議員会（令和8年6月予定） 令和7年度事業報告・収支決算について他 イ 第2回評議員会（令和9年3月予定） 令和9年度事業計画・収支予算について他 ● 定期監査（令和8年5月予定） 令和7年度事業実績・収支決算について <p>②行政財産に係る管理経費 事務所貸借12ヶ月分（3.3m²×人数分、高熱水費）</p> <p>③財務・経理関係管理経費 財務状況管理システム経費、税理士経費</p> <p>④その他 需用費（消耗品等）、役務費（通信費等）、旅費等</p>		
参考			